



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.16 / 2007年6月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第16号をお届けします。

今回は、今年8月20日(月) - 24日(金)に新潟の朱鷺メッセで開催予定の2007年アンテナ伝播国際シンポジウム(ISAP2007)の参加登録(Registration)のお願いと、9月に開催予定の2007年電子情報通信学会ソサイエティ大会におけるAP研企画についてお知らせします。

【1】ISAP2007の参加登録について

ISAP2007については、URL(<http://www.isap07.org/>)に掲載されているとおり、7月14日(土)までに参加登録していただければ、それ以降の登録に比べて5,000円もお安くなります。混雑が予想されるホテルの予約と共に、登録はお早めに！ ちょっとその前に、前記URLを開いてみてください。登録以外にも、たくさんの情報が掲載されています。その中から、Short Course と Social Program についてご紹介いたします。いずれも、コストを度外視したお得な料金設定になっており、参加者が増えれば増えるだけ赤字になるという企画ではありますが、皆様方に喜んでいただければとの思いで提供させていただいております。ただし、予算の関係でほとんどの企画は参加定員が決められていますので、こちらもお申し込みはお早めに！

Short Courses

8月20日(月)午後、開催されます。他の国際会議の料金、内容と比べてみてください。

(A) Prof. Raj Mittra (Pennsylvania State University)

"Performance Enhancement of Small antennas using EBG and Metamaterials"

(B) Prof. Wolfgang-Martin Boerner (UIC-ECE Communications, Sensing & Navigation Laboratory)

"SAR polarimetry and Interferometry"

(C) Prof. Per-Simon Kildal (Chalmers University of Technology)

"Reverberation Chamber for Characterizing Antennas and Mobile Terminals under Rayleigh Fading: Efficiency, TRP, TIS, AFS, diversity, MIMO, UWB"

(D) Prof. Yoshio Karasawa (Univ. Electro-Comms.)

"MIMO Propagation Channel Theory and Modeling"

Social Program

日本の文化、技術を知っていただくことを目的に、主に海外からの参加者を対象にした企画ですが、日本人が参加しても新鮮です。ご家族と参加されてはいかがでしょうか。詳細はURLを。

(S1) 8月21日(火)午後：大風博物館ツアー(自分で風を製作し、飛ばすことができます)

(S2) 8月22日(水)終日：北方文化博物館(豪農の館)、弥彦神社ツアー

(S3) 8月23日(木)午後：テクニカルツアー(JR東日本 新津車両製作所見学)

(S4) 8月23日(木)午後：浴衣着付け体験(前任幹事の山田先生の奥様が講師です)

(S5) 8月25日(土)終日：佐渡日帰りツアー(新潟といえば、やはり佐渡島です)

【2】ソサイエティ大会の AP 研企画

下記のように、2007 年電子情報通信学会ソサイエティ大会が開催されます。

- ・会期：2007 年 9 月 10 日（月）～14 日（金）
- ・会場：鳥取大学鳥取キャンパス

AP 研では、この大会におきまして、下記のシンポジウムを企画しております。非常にホットな話題であり、皆様方のご投稿、ご参加をお待ちいたしております。

- ・テーマ：数 m 以下の無線通信を対象としたアンテナ・伝搬技術
- ・オーガナイザ：関根 秀一氏（東芝）

・提案主旨：近年、新たな技術領域として、比較的近距離において通信を行う無線通信システムが注目されています。たとえば、自動改札や流通分野で利用されている RFID システム、人体近傍における通信を前提とした BAN システム、また、ミリ波・UWB などを用いて広帯域な伝送を実現する WPAN システムなどを始めとする種々のシステムがこれにあたります。本シンポジウム講演では、これらシステムの実現におけるキー技術である、最新のアンテナ・伝搬技術の発表およびディスカッションを行います。

AP 研では、今後の総合大会、ソサイエティ大会におきましても、こういった話題性のあるシンポジウムやチュートリアル、パネルディスカッションを企画していく予定です。読者の皆様方からのご提案も大歓迎です。是非、参考にさせていただきたいと考えておりますので、文末のメールアドレスにご連絡ください。なお、これまでに実施した企画につきましては、下記 URL をご覧ください。過去の企画の報告 URL：<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/taikai/taikai.html>

【3】AP 研副委員長の戯言

（その 1）このページは、堀委員長が副委員長に就任されたとき、どうしても福井から発信したいメッセージがあるということで開設されました。従いまして、これは堀委員長のライフワークだろうと思っていたのですが、委員長に就任されるとともに、突然、私に振られてしまいました。私は職場も住まいも関東圏ですし、今後、何を話題にしましょうか。まだ、心の準備ができていません。

（その 2）私は、1998～1999 年度の AP 研幹事で、それ以降は主に IEEE AP-S Japan Chapter の方で活動していました。8 年ぶりの AP 研執行部ですが、この間、副委員長のポストができ、多くの委員会ができ、ずいぶんと変わりましたね。私が幹事するとき、自分が楽をしようと思って幹事補佐をつくり、歴史委員会と論文委員会をつくったのですが、こんなにたくさんの委員会を運営するとなると、今の幹事は本当に楽になったのだろうかと思ってしまいます。しかし、間違いなく言えることは、AP 研のアクティビティも、読者の皆様を含む AP 研の方々に対するサービスも格段に充実したということです。今後もさらなる充実を図るべく、幹事団をこき使っていきたいと思います。

皆様方のご意見、ご要望を、遠慮なく下記メールアドレスにご連絡ください。AP 研の企画、活動に関するもの、あるいは、アンテナ・電波伝搬関連の技術的なご質問など、なんでも結構です。



< 問合せ先 >

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 牧野滋（三菱電機）

E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org